

【事実婚】別世帯になっているが、住所は同じ場合

記入例

生計同一関係に関する申立書

1 生計同一関係の開始日

※①が障害年金受給者である場合には記入

事実婚関係の開始日等を記入

(昭和・平成 _____年_____月_____日・頃)

2 別世帯になっている理由

※①と②は同居しているが別世帯となっている場合には記入

世帯を分けている理由をご記入ください。

Four horizontal lines for writing the reason for separate households.

3 同居についての申立 (別居していることの理由)

※①と②の住民票上の住所が異なる場合には記入

Four horizontal lines for writing the reason for living apart.

4 経済的援助についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ ①から②に対する経済的援助の有無 (あり ・ なし)

㊧ 上記㊦で「あり」の場合にはその回数 (年・月 約 _____ 回程度)

㊨ 経済的援助の内容

Five horizontal lines for writing the content of financial assistance.

5 定期的な音信・訪問についての申立 ※①と②が別居の場合には記入

㊦ 音信の手段 (電話・メール)

㊧ 訪問回数 (年・月・週 約 1 回程度)

㊨ 音信・訪問の内容

6 生計同一関係にあることの申立

平成 年 月 日

私は、下記②の者と、生計を同じくしております。

① 受給権者の住所、氏名

住所 _____

氏名 _____ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

② 受給権者の配偶者または子の住所、氏名

住所 _____

氏名 _____ (①との続柄:)

氏名 _____ (①との続柄:)

氏名 _____ (①との続柄:)

7 第三者による証明欄

平成 年 月 日

上記 1 ~ 6 の事実に相違ないことを証明します。

また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

住所 _____

氏名 _____ ㊩ ※本人自署の場合には押印省略可能

証明資料が添付できない場合は記入してもらいましょう

日本年金機構理事長 殿